

「地域の絆づくりを学ぼう」 第4回ワークショップ開催概要

| | |
|----------|---|
| 日 時 | 平成30年12月6日(木) 19:00~21:00 |
| 場 所 | 瑞穂市民センター 第2会議室 |
| コーディネーター | NPO法人ぎふNPOセンター理事長 野村 典博 氏 |
| 受講者 | 14名 |
| 主催者 | 岐阜県環境生活部県民生活課 瑞穂市企画部市民協働安全課 |
| 内 容 | <p>◆第4回ワークショップ</p> <p>1 グループワーク 3つのグループに分かれ、ワールドカフェ方式にて、それぞれのテーマについて話し合いました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><ワールドカフェとは> まるでカフェにいるような寛いだ環境の中で自由におしゃべりする場のこと。テーマと時間だけは、あらかじめ決めていますが、成果や結論は求めません。ホスト役以外の人は、ラウンドごとにテーブルを移動し、最後に元のテーブルに戻ります。</p> </div> <p><テーマ> ○第1ラウンド「今までの講座を振り返ってみよう」 第1回から第3回までの講座を受講して、感じたこと、思ったことについて話し合いました。 ○第2ラウンド「自分たちの地域の課題は何だろう」 自分たちが住んでいる地域が抱えている課題について話し合いました。 ○第3ラウンド「何が必要で、何が足りないか？」 課題を解決するためには、何があるとよいか、どんなことが足りないのかについて話し合いました。 ○第4ラウンド「自分たちの出来ることを考えよう」 自分がやってみたいこと、出来そうだと思うこと、やろうと思ったことなど、自分たちのできることについて話し合いました。</p> <p>2 発表 各グループでホスト役を務めた方に、第1から第3ラウンドの内容を踏まえ、第4ラウンドで出た意見について発表してもらいました。</p> <p><1グループ> ・居場所づくりを行いたい。市内には空き家がたくさんあるため、家主・自治会・市と三者連携して活用し、居場所づくりを行っていきたい。 ・現在1小学校区のPTAで、社協と連携しながら「貧困生活の子ども支援」というテーマで取り組んでいる。他の校区でも同様の取り組みができるといいし、PTAだけでなく多くの人たちが関わって取り組んでいけるとよい。</p> <p><2グループ> ・引きこもっている人など現在困っている人の情報が、なかなか入ってこない。 ・たとえば広報誌や回覧を手渡ししたり、自分の畑で採れた野菜を分けあったりして日頃からつながりを持つことが必要。まずは挨拶することが大切であり、一番有効だと思う。</p> <p><3グループ> ・人が気楽に立ち寄れる居場所づくりをしたい。公民館のような公的な施設ではなく、空き家を活用し誰もが気軽に参加・利用できるようにしたい。 ・空き家の周りにある花壇や畑を活用し、花いっぱい運動を行いたい。その時は、子ども達に参加してもらい、みんなで自分たちの居場所づくりを行いたい。</p> |



3 講評

コーディネーターを務めていただいた野村先生から、本講座のまとめと受講者へのエールをいただきました。

- 講座内で見に行ったり、話を聞いたりした団体の方は、どの方も素晴らしすぎて「すごい！」となってしまったかもしれないが、「どうしてできたのか。なぜ自分たちはできなかったのか。」を考える必要がある。よく「できない理由を探すより、やれる方法を考える」と言われるが、やれる方法を考えるためには、まずはできない理由を整理しないといけない。
- どうすれば想いが伝わるか、何があればこの活動ができるのかを整理すると、「やれる」一歩になると思うので、是非考えてほしい。
- 活動は、一人では絶対できない。また、地域の絆は、普段から顔の見える関係をいかにつくるかに尽きると思う。是非この場のネットワークやつながりをも今後大事にしてほしい。



▲コーディネーターの野村先生

◆閉講式

挨拶（瑞穂市企画部長）